



51:25 全地を破壊する、破壊の山よ。見よ。わたしはおまえを攻める。・・主の御告げ。・・わたしはおまえに手を伸べ、おまえを岩から突き落とし、おまえを焼く山とする。
51:26 だれもおまえから石を取って、隅の石とする者はなく、礎の石とする者もない。おまえは永遠に荒れ果てる。・・主の御告げ。・・

51:27 この地に旗を掲げ、国々の中に角笛を鳴らせ。国々を整えてこれを攻めよ。アララテ、ミニ、アシュケナズの王国を召集してこれを攻めよ。ひとりの長を立ててこれを攻めよ。群がるばったのように、馬を上らせよ。
51:28 国々を整えてこれを攻めよ。メディア人の王たち、その総督やすべての長官たち、その支配する全土の民を整えて、これを攻めよ。

51:29 地は震え、もだえる。主はご計画をバビロンに成し遂げ、バビロンの国を住む者もない荒れ果てた地とされる。

51:30 バビロンの勇士たちは戦いをやめて、とりでの中にすわり込み、彼らの力も干からびて、女ようになる。その住まいは焼かれ、かんぬきは砕かれる。

51:31 飛脚はほかの飛脚に走り次ぎ、使者もほかの使者に取り次いで、バビロンの王に告げて言う。「都はくまなく取られ、

51:32 渡し場も取られ、葦の舟も火で焼かれ、戦士たちはおじ惑っている。」

51:33 イスラエルの神、万軍の主が、こう仰せられたからだ。「バビロンの娘は、踏まれるときの打ち場のようだ。もうしばらくで、刈り入れの時が来る。

51:34 『バビロンの王ネブカデレザルは、私を食い尽くし、私をかき乱して、からの器にした。竜のように私をのみこみ、私のおいしい物で腹を満たし、私を洗い流した。』

51:35 シオンに住む者は、『私と私の肉親になされた暴虐は、バビロンにふりかかれ。』と言え。エルサレムは、『私の血はカルデアの住民に注がれよ。』と言え。」

51:36 それゆえ、主はこう仰せられる。「見よ。わたしはあなたの訴えを取り上げ、あなたのために報復する。わたしはその海を干上がらせ、その泉をからす。

51:37 バビロンは石くれの山となり、ジャツカルの住みかとなり、恐怖、あざけりとなる。

51:38 彼らは共に、若獅子のようにほえ、雄獅子のように叫ぶ。

51:39 彼らがいらだっているとき、わたしは彼らに宴会を開き、彼らを酔わせて踊らせ、永遠の眠りについて、目ざめないようにする。・・主の御告げ。・・

51:40 わたしは彼らを、子羊のように、また雄羊か雄やぎのように、ほふり場に下らせる。

26節までは、ベルシャ王クロスがバビロンを滅ぼす預言です。33節まではバビロンの狼狽が書かれており、34節からはイスラエルのためにバビロンに仇を打ってくださる神の預言です。

この世にあっての助けは、現実的には敵への報復が必要になる場合があります。主はそのようなときも、権威を表してくださる方です。しかし、人間の勝手な勝利のためではなく、また復讐心のためではなく、神様の義と栄光のためです。

イスラエルもまた神様の前に懲らしめを受けた

ことを忘れてはなりません。

もしも罪ゆえに懲らしめられてとしても、その試練を十分に受け、悔い改めて主に立ち帰るなら、主は敵をも倒して助けてくださるということです。主の権威に従ってみましょ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

